

2023年1月27日

各 位

会 社 名 株式会社オリエントタルコンサルタンツホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
(東証スタンダード市場・コード番号2498)  
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
TEL 03-6311-6641

## **株式会社リサーチアンドソリューション くまもと産 MaaS の実装に向けた政策・技術検討シンポジウムへ参加**

当社グループの事業会社である株式会社リサーチアンドソリューション（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：清見光生）は、2023年1月30日（月）に行われる「くまもと産 MaaS の実装に向けた政策・技術検討シンポジウム」へ参加いたします。

本シンポジウムは、2021年10月11日より約1カ月間実施された、熊本学園大学主導による「ピアクレス MaaS 実証実験」へ参画した企業と熊本学園大学並びに熊本市が、MaaS 実証実験の成果を関係者で振り返りながら、地域 MaaS 実装に興味を持つ組織や企業、個人が、地域 MaaS の実装に向けた議論を政策・技術の両面から具体的かつ率直に行うことを目的としております。

同社では、今後も更なる技術の向上を目指し、社会価値創造企業の実現に向け、より社会に貢献できるサービスを推進して参ります。

### ■くまもと産 MaaS の実装に向けた政策・技術検討シンポジウム概要

日 時：2023年1月30日(月) 13:00～16:00

会 場：熊本城ホール 会議室 E1, E2

熊本市中央区桜町 3 番 40 号（サクラマチクマモト隣）

<https://www.kumamoto-jo-hall.jp/access/>

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社リサーチアンドソリューション

TEL：092-281-5729 FAX：092-281-5744

URL：<https://www.rands-co.com>

経営管理本部 国永

# くまもと産 MaaS の実装に向けた 政策・技術検討シンポジウム

「健軍地区におけるピアクレス AI デマンドタクシー実証実験」  
から得られた知見と実装に向けた課題

## ■商店街と連携した健軍地区AIデマンドタクシー実証実験



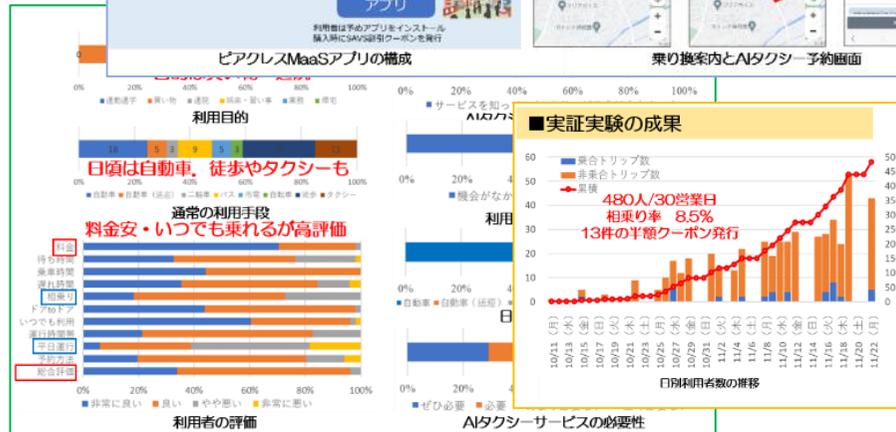
内容	R3年度実証実験（※）
運行車両	タクシー
道路運送上の位置づけ	非定時・区域運行型乗合タクシー
車両数	

### ピアクレスMaaSアプリの独自開発



乗り換え案内とAIタクシー予約画面

ピアクレスMaaSアプリの構成



日時：2023年1月30日(月) 13:00~15:30

会場：熊本城ホール 会議室 E1, E2  
熊本市中央区桜町3番40号（サクラマチクマモト隣）  
<https://www.kumamoto-jo-hall.jp/access/>

趣旨：2021年10月11日(月)~11月22日(月)に実施した「健軍地区におけるピアクレス AI デマンドタクシー実証実験」は、既存公共交通機関とリアルタイムオンデマンド区域運行型乗合タクシーを用い、ピアクレス健軍商店街と連携した、小規模ではありますが、広義のMaaSでした。

本シンポジウムは、MaaS 実証実験の成果を関係者で振り返りながら、地域 MaaS 実装に興味を持つ組織や企業、個人が、「そんなことだったら今でも私はやれるよ!」とか、「その規制、どうにかならないの?」とか、「やっぱり、貴方が肝ですね!」など、地域 MaaS の実装に向けた議論を、政策、技術の両面から、具体的、かつ率直に行うことを目指します。

## プログラム

- 13:00~13:20 開会の挨拶と基調報告・問題提起（20分）  
新道路技術研究 研究代表者 熊本学園大学 教授 溝上章志
- 13:20~14:00 実証事件関係者からの報告
  1. AI タクシー運行事業者の地域交通 HD  
取締役 森 泰司 氏（10分）
  2. 連携したピアクレス健軍商店街振興組合  
理事長 有働栄一 氏（10分）
  3. MaaS アプリ開発協力者の株式会社リサーチアンドソリューション  
西日本営業グループ長 中里幸太 氏（10分）
  4. 実証実験を支援した熊本市都市建設局交通政策部移動円滑推進課  
技術参事 濱田昌宝 氏（10分）
- 14:00~14:30 地域 MaaS 事業の事例紹介とくまもと産 MaaS への期待
  1. 西日本鉄道自動車事業本部未来モビリティ部 部長 田中昭彦 氏（15分）
  2. 名古屋鉄道経営戦略部総合企画担当 課長 山口啓輔 氏（15分）
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~15:50 パネルディスカッション「くまもと産 MaaS の実装を目指して」  
および会場からの質問・提言（slido 利用）  
モデレータ：溝上章志、パネリスト：実証実験関係者 4人
- 15:50~16:00 まとめと閉会の挨拶  
新道路技術研究 研究分担者 名古屋大学 准教授 金森 亮

お問い合わせ 熊本学園大学経済学部 溝上章志  
(sh-mizokami@kumagaku.ac.jp)